まちの話題

市ホームページ内フォトギャラリーや公式ツイッターでもまちの話題を紹介しています!

▲弥富金魚初市
（東海観賞魚卸売市場）

名古屋西部ソイルリサイクル株式会社の皆さんと市長

自然環境保全のために

11月1日、本市に所在する名古屋西部ソイルリサイクル株式会社様から市の緑化や公園整備事業の一助にと20万円の寄付をいただきました。

同社では、建設工事に伴い発生する掘削土などの有効活用により自然環境の保全、地域の建設事業の推進および循環型社会の実現に貢献することを経営理念とされています。

パーティーの様子

4組のカップルが成立♥

11月23日、市社会福祉協議会主催「♡やとみ♡ふく婚パーティー」が総合福祉センターで開催されました。今回のイベントには男性17名、女性15名が参加しました。「デコって婚活～今日はやとみの“ケーキ屋さん”」をテーマにケーキのデコレーション企画を催しました。各チームに分かれ、工夫を凝らした見た目にも楽しめるケーキが完成しました。トークタイムやレクリエーションを通じてなごやかな雰囲気で会話を楽しんでいました。

カップルになられた皆さん、おめでとうございます。

人権の桜運動

12月4日、桜小学校にて、児童代表の6年生と人権擁護委員によって2本の「人権の桜」の植樹が行われました。これは、津島人権擁護委員協議会が行っている運動で、心身ともに健全に育成されるべき青少年期に、子どもたちが相互に協力し合いながら、桜の木の世話をすることによって、心をより豊かにし、命の大切さや、相手への思いやりといった基本的人権の尊重の精神を身につけてもらうことを目的として、実施されました。

「人権の桜」を植樹する人権擁護委員と児童代表

農業委員会よりプランターを受け取る児童代表

花の贈呈

11月27日、十四山東部小学校にて、弥富市農業委員会による花の贈呈が行われました。これは、市内小学生が植物の育成を行うことにより、達成感や満足感を得ることを目的に市内小学校へビオラのプランターを贈呈しました。

市内小学校を代表して、十四山東部小学校6年生が贈呈式に出席し、農業委員と農地利用最適化推進委員よりプランターを受け取りました。贈呈式終了後、各委員はそれぞれ担当小学校を訪問し、順次プランターを贈呈しました。

ちょっと一息“防災”

防災クイズに挑戦してみませんか?

問題 地震発生直後の避難方法で、最も適切なものは？

❶ 近所の人と声を掛け合って避難する

❷ 一人で身軽に避難する

❸ 避難生活に備え、持てるだけもって避難する

答えはP15の下をご覧ください。

やとみ歴史探訪

このコーナーでは、弥富市のまだまだ知られざる歴史について、弥富ふるさとガイドボランティアが紹介していきます。

難畑地蔵尊

永禄10(1567)年、織田軍が長島一向一揆に味方した服部党と戦い、鯏浦の東は激戦地となり多数の戦死者が出ました。

戦乱の後、この地を耕した百姓たちは、しばしば出土する遺骨や武具を集めて丘の上に埋め、サルスベリの木を植えました。木の下に安置された地蔵は、難畑(なんばた)地蔵と呼ばれました。

明治の中頃、下之割に住む眼病の娘の夢枕に難畑地蔵が現れ、「私を寂しい場所からにぎやかな場所に移してくれたら、眼病を治してやろう」と告げました。これを知った村人は、人通りの多い西中地の道ばたにお堂を建てて地蔵を安置しました。道行く人々にお参りをしてもらうと、娘の眼病はたちどころに治ったと伝えられています。昭和7年には、地元の有志により地蔵の移転前の場所(現在の東弥生台団地内)に「難畑地蔵尊跡」の碑が建てられました。

▲難畑地蔵

答え ① 単独行動は危険を伴う。両手が荷物でふさがり避難の妨げになる。